

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当り17.7人とほぼ横ばいで推移していますが、例年同時期と比べて多い状態が続いています。

例年冬季はウイルス性の感染性胃腸炎が多くなり、特に12月から2月ごろはノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が、2月から4月ごろはロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎が多くなります。

また、1月以降、感染性胃腸炎の集団感染も増加していますので、学校・保育園・福祉施設などの集団生活の場では、手洗いを徹底するなど注意が必要です。

2. インフルエンザ

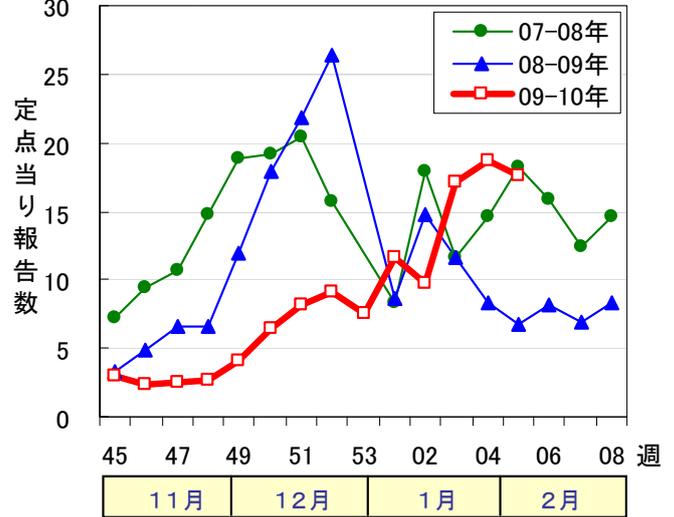
定点当り2.86人とやや減少しています。流行は小規模になりましたが、まだ続いています。引き続き体調管理に注意するとともに、手洗い・うがいや混み合った場所でのマスクの着用など感染予防対策を徹底しましょう。

3. 流行性耳下腺炎

定点当り1.54人とやや減少しましたが、多い状態が続いています。

過去5年間(2005年～2009年)の報告数を年齢別にみると、4歳が最も多く、3歳から5歳の年齢層が全体のほぼ半数を占めています。

感染性胃腸炎の定点当り報告数の推移



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平 過 均 去 (注 5 年 間)	発生 記号	疾患名	報告数	定点当り	平 過 均 去 (注 5 年 間)	発生 記号
インフルエンザ	106	2.86	19.75	↘	ヘルパンギーナ	-	-	0.01	
咽頭結膜熱	8	0.33	0.30		流行性耳下腺炎	37	1.54	0.82	↘
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	21	0.88	1.85	↘	RSウイルス 感染症	10	0.42	0.22	
感染性胃腸炎	424	17.67	13.08	↗	急性出血性 結膜炎	-	-	0.03	
水痘	31	1.29	1.77	↗	流行性角結膜炎	7	0.88	0.75	
手足口病	9	0.38	0.18		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	3	0.13	0.27		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
突発性発しん	9	0.38	0.55		マイコプラズマ 肺炎	-	-	0.26	
百日咳	2	0.08	0.03		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	5	27	男性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、女性(80歳代)・2人
5	急性脳炎	1	1	女性(10歳未満)
5	麻しん	1	1	男性(10歳未満)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
							248	4	10	280	48	5	3	13	10	-	23	43	-	7	-	-	2	-
	広島市	206	8	7	232	56	6	2	12	9	1	39	37	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島市	271	1	30	412	44	5	1	14	8	-	33	18	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島市	155	5	15	448	32	4	7	19	-	1	51	12	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島市	106	8	21	424	31	9	3	9	2	-	37	10	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	広島市	6.70	0.17	0.42	11.67	2.00	0.21	0.13	0.54	0.42	-	0.96	1.79	-	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島市	5.57	0.33	0.29	9.67	2.33	0.25	0.08	0.50	0.38	0.04	1.63	1.54	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島市	7.32	0.04	1.25	17.17	1.83	0.21	0.04	0.58	0.33	-	1.38	0.75	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島市	4.19	0.21	0.63	18.67	1.33	0.17	0.29	0.79	-	0.04	2.13	0.50	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島市	2.86	0.33	0.88	17.67	1.29	0.38	0.13	0.38	0.08	-	1.54	0.42	-	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	全国	9.03	0.14	1.33	13.81	1.28	0.13	0.09	0.56	0.02	0.02	0.60	1.30	0.01	0.45	0.02	0.01	0.30	0.02	0.01	0.31	0.02	0.02	0.02
	全国	6.46	0.14	1.41	14.31	1.16	0.15	0.10	0.51	0.02	0.02	0.76	1.56	0.01	0.46	0.02	0.01	0.31	0.02	0.01	0.31	0.02	0.02	0.02

■新たに判明した病原体検出状況(新型インフルエンザを除く)

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	6	男	2009/12/15	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患(気管支喘息)	1	男	2009/12/12	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
その他の疾患(熱性けいれん)	2	女	2009/12/17	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の疾患(熱性けいれん)	2	女	2009/12/17	咽頭拭い液	アデノウイルス1型

*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

広島市衛生研究所の検査結果では、第5週は2人からインフルエンザウイルスが検出され、すべて新型インフルエンザウイルスでした。今シーズン(9月以降)は患者から検出されるインフルエンザウイルスはすべて新型インフルエンザとなっており、季節性インフルエンザ(Aソ連型、A香港型、B型)は検出されていません。

検出状況等の詳細は以下のホームページを参照してください。

http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/kan_center/rinzi/inf/inf_rinzi_gr.htm

■広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

2010年 第5週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
病原体サーベイランス	1								1
入院サーベイランス	1								1
その他									
合計	2								2

累計(2009年7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
病原体サーベイランス	103	130	39	19	12	5	3	4	315
入院サーベイランス	33	11	1	3	1	1	1		51
その他	4	5	3						12
合計	140	146	43	22	13	6	4	4	378

- ・すべて広島市衛生研究所のPCR検査による確定例です。
- ・病原体サーベイランスは、病原体定点において原則ランダムにインフルエンザ様疾患の患者の検体を検査するものです。
- ・入院サーベイランスは、新型インフルエンザによる重症者の発生動向を把握するなどの目的で、入院患者の検体を検査するものです。
- ・病原体サーベイランスの患者で入院した場合は、入院サーベイランスに計上します。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第5週(2月1日~2月7日)